

能 真双会

第48回 能と狂言の鑑賞会

鴛鴦夢幻

ENOH MUGEN



お話 名残の恋ごころ
狂言 箕被
能 楊貴妃

林 望
野村 万作
坂 真太郎

令和3年 10月2日(土) 午後1時30分開演

千駄ヶ谷 国立能楽堂

本公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、開催致します。あらかじめご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

鴛鴦夢幻

今年「鴛鴦夢幻」と題し、様々な形の夫婦の情愛をテーマとした作品を揃え、ご覧頂きます。

狂言 箕被 みかづき

連歌好きが高じて妻から離縁を求められた夫。暇の印に夫が手渡した箕を、頭に被いて出て行く妻の後ろ姿を夫が発句に詠むと。連歌の徳を主題として、連歌によって再び仲直りする夫婦の心情の機微を表現した作品です。「箕」とは穀類の殻や塵を除くためのザル状の農具のこと。

能 楊貴妃 ようきひ

唐の玄宗皇帝は、安祿山の乱の折に馬嵬が原で殺された楊貴妃の事が忘れられず、神仙の術を得た方士に貴妃の魂魄を尋ねさせます。方士は天上地下をくまなく探し、遂に常世国蓬萊宮に渡り、漸く太真殿で貴妃と対面します。帝の嘆きを聞いた貴妃は、使者の方士と会った証に釵を与え、更に帝と貴妃が永遠の愛を誓った「比翼連理」の言葉を伝えます。やがて帝の命令を果たして帰ろうとする方士に、貴妃が霓裳羽衣の舞を見せて別れを惜しむと、方士は証の釵を手に帝のもとへと帰り、貴妃は涙にうち沈み、再び蓬萊宮に留まるのでした。白居易の名詩『長恨歌』に因った作品で、金春禅竹作。

番組

お話 名残の恋ごころ (三十分)

林望 (作家・国文学者)

仕舞 (観世流)

蘆刈 あしかりキリ

観世 喜正

井筒 いづつ

観世 喜之

籠太鼓 ろうたいこ

野村 幻雪 (四郎改メ)

箕被 みかづき

シテ アド 野村 万作 内藤 連

能 (観世流) 楊貴妃 ようきひ

シテ ワキ アイ 坂 真太郎 工藤 和哉 石田 淡朗 一噌 庸二 鶴澤洋太郎 柿原 弘和 野村 幻雪 観世 喜之

終演予定 午後4時30分

上演中の撮影・録音は固くお断り致します。未就学児のご入場はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。やむを得ぬ事情により、出演者、演目等に変更が生じる場合は何卒ご了承下さい。



坂 真太郎 (ばん しんたろう) 能楽師シテ方観世流。昭和47年生。坂 真太郎の長男。三世 観世喜之師に師事。公益社団法人観世九學會会員。公益社団法人 能楽協会 東京支部常議員。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。安宅賞を受賞。昭和50年の初舞台以来、これまでに『石橋』『狸々乱』『道成寺』等を披露。平成15年 皇居・桃華楽堂で御前演奏。台東区アートアドバイザー・たいとう観光大使。

令和3年10月2日(土)

◎入場料 正面 : 8,500円 脇・中正面 : 6,000円 学生GB席 : 2,500円 (全席指定・税込)

午後1時30分開演(午後12時30分開場)

千駄ヶ谷 国立能楽堂 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL:03-3423-1331

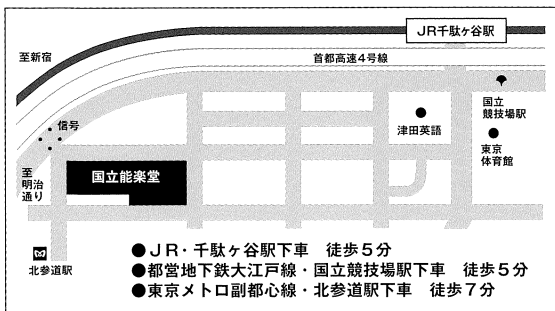
本公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、開催致します。あらかじめご了承下さいませよう、お願い申し上げます。

入場券のお求めは下記主催者まで

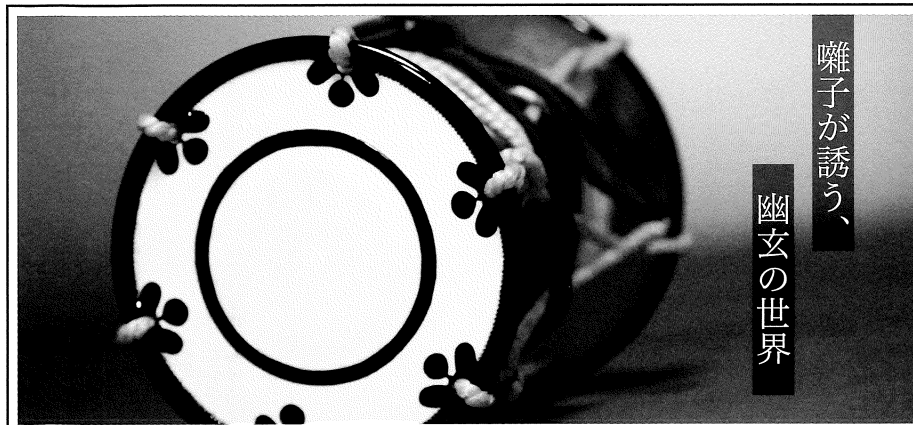
前売開始 8月20日(金)

主催 眞双会 〒110-0003 東京都台東区根岸5-11-5 TEL 03-3873-5404 FAX 03-3873-5635

http://shinnohsho.net/ info_shinnoh@yahoo.co.jp 郵便振替口座 00160-9-606000 眞双会



- JR・千駄ヶ谷駅下車 徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線・国立競技場駅下車 徒歩5分
- 東京メトロ副都心線・北参道駅下車 徒歩7分



囃子が誘う、

幽玄の世界

この国の佳き伝統とともに 宮本卯之助

株式会社 宮本卯之助商店 創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売 www.miyamoto-unosuke.co.jp